

町内会加入世帯数 4998 世帯

令和2年7月豪雨での各町内会・自治会の対応等の状況について

尾長地区自主防災連絡協議会

尾長小学校体育館



令和2年7月6日（月）広島市から「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」が発令されると、会長及び三本松町内会長の2

名が尾長小学校体育館に急行して体育館を解錠するとともに東区役所職員が避難場所を設営する支援を行いました。なお、尾長小学校の避難者は、7月6日（月）は4名、7月7日（火）～8日（水）は13名でした。

町内会	避難場所等	対応等の状況
二葉の里	尾長小学校	以前に避難場所を教示していた。女性1名が尾長小学校に避難した。
光が丘	光が丘集会所	役員が集会所に集合し連絡網で会長から順次組長・組員まで連絡した。
山根町西部	寿老園	役員2名の対応で6名が避難した。
山根町東部		役員間の電話連絡で降雨の様子を見ることとした。
片河	片河集会所	避難者2名が集会所の鍵を借用して宿泊避難した。
皇が丘		民生委員が65歳以上の一人暮らしの人に避難の声をかけたが避難しないとの回答であった。
丸山	修道院講堂	「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」が発令されると、広島修道院と協議して連絡網で会長から組長・組員まで連絡（1区・2区）。その後、広島修道院に役員が一時避難所を設置して7/6（月）5名、7/7（火）～8（水）は2名が避難した
曙5丁目		事前に町内に周知していた自宅2階への避難を実行した。

会長就任の挨拶

尾長地区自主防災連絡協議会はコロナ禍の為総会を開催できず、書類審査となり 皆様の承認をいただきまして、会長に選任いただきました。

どこの団体も同じように、逃げることのできない高齢化、また世代交代も出来ず それでいて、実際はあらゆる場面で、高齢者頼みの団体となっております。また最近災害に関する事案が頻発し、どうしても新世代の現役の方の参加が必要になってまいりました。そこで、この会の原点に戻り 活動の内容をしっかりと広報することが最初に必要なことと思い、まず本年の目標として、現役世代の加入がしやすいようなあらゆるシステムや制度を改革していこうと思っています。いままで制度確立のためいろいろご苦労されていましたが、目的のために改めて少し方向転換しようと思っています。現役参加者を増やすためには、①広報や緊密な連絡 ②会議はできるだけ少なく ③時間的・金銭的負担を無くする まずはこのあたりから始めていきたいと思っています。④規約の改正改訂は 昨年度から検討に入っていますが、できるだけ簡潔にして緊急時には規約に拘束されずに即応できるようにしたいと思っています。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

尾長地区自主防災連絡協議会会長 信濃玉雄



尾長学区大運動会中止のお知らせ

延期をお知らせしていましたが、尾長学区大運動会は、コロナウイルス感染拡大防止のため中止と決定いたしました。

社会を明るくする運動

7月は第70回
“社会を明るくす
る運動”～犯罪や
非行を防止し、立
ち直りを支える地
域のチカラ～強調



月間・再犯防止啓発月間でした。東地区保護司会は、新幹線口ペDESTリアンデッキで街頭一斉広報活動を行なう予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。今後もより一層のご理解・ご協力をお願いします。



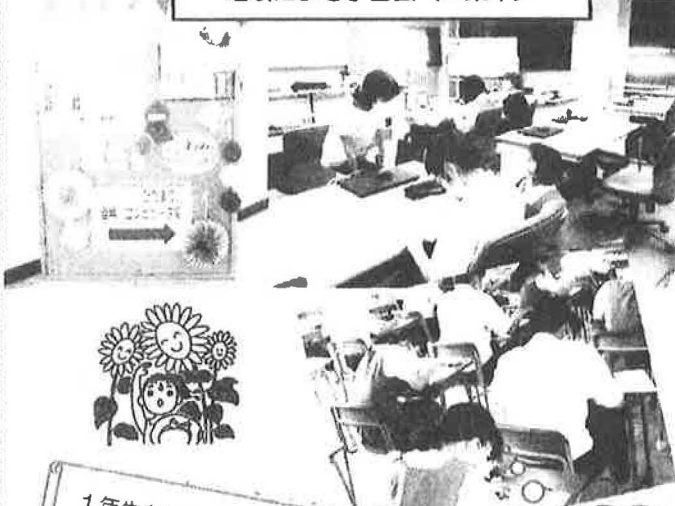
「東地区更生保護サポートセンター」が牛田早稲田集会所から尾長学区集会所2階に移転しました。平日の10時から16時までの間、1名の企画調整保護司が交代で常駐し活動を行っています。以前に比べ室内が広く少人数の会議も可能なため、幅広い活動ができる場となっております。

ります。今後もサポートセンターを活かし、更生保護関係者、地域の皆様と保護司が手を携えなお一層、犯罪や非行のない地域社会を目指して取り組んでいきたいと思ひます。サポートセンター移転にご協力いただいた皆様有難うございました。

東地区保護司会 鴨下康子

子ども達の学校生活

地域による学習会（二葉中）



1年生を迎える会（尾長小）



コロナに負けず、
テストを頑張る
生徒たち

ボランティアによる
読み聞かせ（尾長小）



セミの抜け殻
見つけたよ！



写真は学校のHPより

新型コロナウイルス流行による「新しい生活様式」

今年に入りコロナの蔓延でいろいろな日常が一気に変貌してしまいました。学校の卒業式や入学式の参加制限や緊急事態宣言から「ステイホーム」となりました。オリンピックや野球、サッカー、相撲などのスポーツも中止となり、再開後においても無観客や応援の制限など、世界中が経験したことのないことが起こりました。子ども達の日常も大きく制限され、家族のそれぞれの生活も自粛が続いています。

尾長地区の連合町内会や社協の活動も大きく変わりました。総会や研修会、「エキキタおながフェスタ」や「高齢者ふれあいまつり」などの行事も中止とさせて頂きました。地域の交流や福祉活動など大人数で開催する行事は密集を避けることに努め、今後も見直しを求められるでしょう。今後このウイルスの終息にはまだ時間がかかるでしょうが、不要不急の定義を考えながら地域活動を検討していきたいと思ひます。「みんなで頑張りましょう！！」

尾長地区社会福祉協議会会長 石田三枝子